

平成24年11月9日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ア サ カ 理 研
代 表 者 名 代表取締役社長 山 田 慶 太
(コード番号:5724)
問 合 せ 先 取締役管理本部長 鈴 木 忍
TEL. 024-944-4744(代)

平成24年9月期通期業績予想と実績との差異についてのお知らせ

平成24年5月11日に公表した平成24年9月期通期(平成23年10月1日～平成24年9月30日)の業績予想と実績との差異について、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 通期 連結業績(平成23年10月1日～平成24年9月30日) (単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	14,321	310	205	105	42 円 55 銭
実績(B)	13,093	249	118	73	29 円 58 銭
増減額(B-A)	-1,228	-60	-86	-32	-
増減率	-8.6%	-19.6%	-42.0%	-30.5%	-
(ご参考)前期実績 (平成23年9月期)	13,077	457	542	193	77 円 80 銭

2. 差異が生じた理由

当社グループの主要な取引先が属する電子部品・デバイス工業分野においては、スマートフォンやタブレット端末の普及という追い風はあるものの、円高や世界的な景気減速の影響によって、全体として生産数量が減少しました。前回予想時点では、生産減少は一時的なものであり、当初予想よりも回復ペースは鈍いものの、下期中に回復に向かうと想定しておりました。しかし、同分野の生産の回復は思うように進まず、これにより、主力の貴金属事業、環境事業ともに、当期間における主要製品の取扱い数量は、想定を下回りました。

一方、主力製品である貴金属及び銅の価格は、為替が円高で推移する中でも、比較的高い水準で推移しました。当期下半期においては、金の価格を4,000円/g、銅の価格を600千円/tと想定しておりましたが、いずれも想定を上回る水準で推移しました。

貴金属事業、環境事業ともに、以上のような金属価格の上昇があったものの、取り扱い数量の減少による影響分を補いきれず、売上高は、前回予想に対し、貴金属事業で1,179百万円、環境事業で57百万円それぞれ減少しました。これらの結果、連結売上高は、前回予想に対し、1,228百万円減少の、13,093百万円となりました。

利益面では、売上高の減少によって、連結営業利益で、249百万円、連結経常利益で、118百万円、連結当期純利益で、73百万円となり、いずれも前回予想を下回りました。

以上